

2020年度 ベイキッズ星の森保育園 自己評価

ベイキッズでは、保育士の自己評価を厚生労働省のガイドラインに基づいて、年に1度の振り返りとして行なっております。

2020年度の実施結果を次のとおり公表いたします。（評価対象：常勤保育士 4名、非常勤保育士 3名）

- 1 小規模保育所では、0歳児から2歳児までの子どもの健やかな育ちを見通しながら保育にあたり、常に自らの保育を振り返り、子どもへの理解を深め、保護者との信頼関係を築いていくことが求められております。
- 2 保育士が自己評価の取組みを通して、保育の質の向上を図っていくことは保育所の責務であります。
これからもより一層、保育園の保育理念・保育方針・保育内容等を共通理解し、全職員が心一つにして 研鑽にはげみ、保護者の皆様と一緒にお子様の健全なる成長に関わってまいります。

- A できている/理解している
- B 改善を要する/理解していない

第1 保育所の理念、基本方針

| 評 価 項 目 | 評 価 |
|------------------------------------|-----|
| ベイキッズの保育理念（保育目標）や保育方針を読んだことがありますか。 | A |
| ベイキッズの保育理念（保育目標）や保育方針を理解していますか。 | A |

第2 保育所の運営管理

| 評 価 項 目 | 評 価 |
|----------------------------------|-----|
| 保育所における自分自身の役割や責任の範囲などを理解していますか。 | A |
| 保育所保育指針を熟読し、実践していますか。 | A |
| 個人情報の保護や守秘義務に関して理解していますか。 | A |
| 職員会議などに参加し、その会議の内容について理解していますか。 | A |

第3 保育の内容

| 評 価 項 目 | 評 価 |
|---|-----|
| 子どもの発育や発達の状態、家庭での食事、睡眠などの状態について保護者から情報を得るようにしていますか。 | A |
| 登園時、子どもの健康観察（機嫌、顔色など）を行っていますか。 | A |
| 保育中、子どもの様子（機嫌や食欲など）の把握していますか。 | A |
| 一人ひとりの子どもの生理的欲求（食欲や睡眠など）が満たされるよう配慮していますか。 | A |
| 登園時、子どもの状況に応じて、抱いたり、優しく声を掛けたりしていますか。 | A |
| 子どもとの温かなやり取りやスキンシップを心がけていますか。 | A |
| 子どもが、いつでも安心して休息できる雰囲気づくりを心がけていますか。 | A |
| 子ども一人ひとりに分かりやすく温かな言葉で、おだやかに話しかけていますか。 | A |
| 一人ひとりの子どもが、伸び伸びと遊べるよう見守っていますか。 | A |
| いろいろな遊びの中で、全身を使って体を動かすことができるよう配慮していますか。 | A |
| 戸外（公園や広場など）でのいろいろな遊びを意欲的に楽しむことができる機会を設けていますか。 | A |
| いろいろな活動に親しみ、保育者や友達と楽しんで遊ぶことができるよう工夫していますか。 | A |

| | |
|--|---|
| 衣類の着脱や排泄などを自分でできるよう、子どもの発達に応じて、丁寧に優しく援助していますか。 | A |
| いろいろな遊びや活動の中で、子どもが自分なりに考えて行動できるよう配慮していますか。 | A |
| 子どもが、自分でできることは自分でしようとする意欲や姿勢を十分に見守っていますか。 | A |
| 子どもが、自分でできたという充実感や達成感を味わうことができるような活動を取り入れていますか。 | A |
| 子どもが、物事には良いことや悪いことがあることに気付いていくことができるよう援助していますか。 | A |
| 子どもが、全身を介して直接自然と触れ合う体験をする機会を設けていますか。 | A |
| 子どもが、自然に対する驚き、自然の美しさに感動する気持ちを抱かせるような援助をしていますか。 | A |
| 子どもが、いろいろなものに触れながら、その性質や仕組みに興味を持てるよう配慮していますか。 | A |
| 子どもの発達や理解力などに合わせた言葉を使うよう心がけていますか。 | A |
| 子どもの表情や姿をよく観察し、その場に適した言葉がけをするよう心がけていますか。 | A |
| 子どもが、見たり、考えたりしたことなどを、自分なりに言葉で表現しようとするよう援助していますか。 | A |
| 子どもが話しているときに、視線を合わせて、最後までゆったりと聞くよう心がけていますか。 | A |
| 子どもの気持ちに寄り添いながら疑問や質問に答えたり、一緒に考えるよう心がけていますか。 | A |
| 子どもに親しみを持って挨拶したり、子ども自ら挨拶しようとする機会や雰囲気を作るよう心がけていますか。 | A |
| 絵本の読み聞かせなどを通して、言葉への興味や関心を育てるよう心がけていますか。 | A |
| 子どもが、歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして、表現の楽しさに気付くよう配慮していますか。 | A |
| 子どもが、感じたことや考えたことなどを音や動きで表現できるよう工夫していますか。 | A |
| 子どもの表現を受けとめ、共感し、子どもが表現することの楽しさを味わえるよう配慮していますか。 | A |
| 子どもの表現を、子どもの内面の表れとして理解しようと努めていますか。 | A |
| 一人ひとりの子どもの心身の発達や活動の実態を踏まえた保育を行うよう配慮していますか。 | A |
| 一人ひとりの子どものその時々的心情を受けとめて保育を行うよう配慮していますか。 | A |
| 一人ひとりの子どもが、主体的に活動し、意欲をもって活動できるよう配慮していますか。 | A |
| 一人ひとりの乳児の発育や発達の状態をよく観察したうえで、常に体の状態を細かく観察していますか。 | A |
| 乳児のしぐさや声を介して発する欲求を察知し、タイミングよく応答していますか。 | A |
| 乳児をあやしたり、抱いたりして、乳児が人に触れられて心地よいと感じる関わりをしていますか。 | A |
| 1～2歳児の基本的な生活習慣の習得については、一人ひとりの子どもの発達過程に応じて行っていますか。 | A |
| 1～2歳児が、楽しい雰囲気の中で、自分で食事をしようとする気持ちを大切にしていますか。 | A |
| 1～2歳児が、ゆったりとした気持ちで自分から便器に座ったり排泄したりできるよう配慮していますか。 | A |
| 1～2歳児の衣類の着脱にあたって、丁寧にやり方を教え、自分でしようとする気持ちを尊重していますか。 | A |
| 1～2歳児の子どもの意欲や自分でやりたいという気持ちを尊重しながら、適切な援助を行っていますか。 | A |

第4 保育の計画及び評価 <指導計画を作成している者のみ記入>

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 保育所の全体的な計画を理解していますか。 | A |
| 指導計画を作成する際、全体的な計画に基づいて作成していますか。 | A |
| 指導計画を作成する際、長期的な指導計画と短期的な指導計画を作成していますか。 | A |
| 指導計画を作成する際、一人ひとりの子どもの状態を踏まえ、個別的に作成していますか。 | A |
| 指導計画に子どもの発達過程などを見通した具体的な「ねらい」と「内容」を設定していますか。 | A |
| 指導計画に子どもの活動の展開に合わせた援助の仕方が具体的に書き込まれていますか。 | A |
| 子どもの発達、興味、関心に基づいて指導計画を見直し、次の指導計画の作成に生かしていますか。 | A |
| 自身の保育を振り返り、反省や評価を行い、次の指導計画の作成に生かしていますか。 | A |

第5-1 健康及び安全（子どもの健康支援）

| 評価項目 | 評価 |
|--|----------------|
| 子どもの日々の健康状態を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。 | A |
| 子どもの健康診断の結果などから、子どもの発育状況を把握し、一人ひとりの保育に生かしていますか。 | A |
| 子どもの健康診断の結果などを、他の職員と共有していますか。 | A 90% B 10% |
| 感染症に対する園の方針などを理解していますか。 | A |
| 感染症に関する知識を持ち、その症状や流行時期などを把握していますか。 | A |
| 一人ひとりの子どもの予防接種歴や感染症の罹患歴を把握していますか。 | A 80% B 20% |
| 保育中に、感染症の疑いのある子どもを発見した際、他の子どもと接触することのないよう配慮していますか。 | A |
| 保護者から与薬の要請を受ける場合や子どもに与薬する場合の対応方法を理解していますか。 | A |
| 慢性疾患を持つ子どもがいる場合、その子どもの保育に必要な知識を得よう努めていますか。 | A |
| 午睡中、子どもの顔色や呼吸の状態をきめ細かく観察していますか。 | A |

第5-2 健康及び安全（環境及び衛生管理）

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| 衛生管理に対する園の方針などを理解していますか。 | A |
| 保育に従事する者として、服装や身支度に配慮し、自らの健康と清潔を常に心がけていますか。 | A |
| 子どもが活動しやすいように、保育室内の温度や湿度に配慮していますか。 | A |
| 保育室、トイレなどを適宜清掃し、常に清潔を保つようにしていますか。 | A |
| 子どもが使用する玩具などを適宜消毒し、常に清潔を保つようにしていますか。 | A |
| おむつの交換や嘔吐物などの処理の際、手洗いや使い捨て手袋の使用など、衛生に配慮していますか。 | A |

第5-3 健康及び安全（事故防止及び安全管理）

| 評価項目 | 評価 |
|--|----------------|
| 事故防止や安全管理に対する園の方針などを理解していますか。 | A 90% B 10% |
| 園内の設備、玩具、用具などを定期的に点検していますか。 | A |
| 日常的に利用する散歩経路や公園などの異常や危険性などを定期的に点検していますか。 | A |
| 事故が発生した場合の対応方法を理解していますか。 | A 90% B 10% |
| 乳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。 | A |
| 1～2歳児に起こりやすい事故やその特徴を把握していますか。 | A |
| 災害に対する園の方針などを理解していますか。 | A |
| 災害が発生した場合の対応方法を理解していますか。 | A 90% B 10% |

第5-4 健康及び安全（食育の推進）

| 評価項目 | 評価 |
|--|----|
| 食事が保育の内容の一環であり、食育として位置づけられていることを理解していますか。 | A |
| 子どもが落ち着いて食事やおやつを楽しめるよう配慮していますか。 | A |
| 自身が感謝の気持ちを持って食事をするよう努めていますか。 | A |
| 食事の際、子ども同士が会話をするなど、楽しんで食べることができる雰囲気づくりに配慮していますか。 | A |
| 子どもが、食材や調理をする人への感謝の気持ちが育つよう配慮していますか。 | A |
| 食事の食べ具合などを、必要に応じて保護者に伝えていますか。 | A |

第6 保護者に対する支援 ＜保護者対応を行う者のみ記入＞

| 評価項目 | 評価 |
|---|----|
| 送迎の際など、保護者と積極的に言葉を交わしていますか。 | A |
| 送迎の際の会話や連絡帳を活用して、保育の内容や子どもの様子などを保護者に伝えていますか。 | A |
| 保護者との交流の中で、子どもへの愛情と成長を喜ぶ気持ちを保護者と共有できるよう努めていますか。 | A |
| 保護者が子育ての悩みなどを安心して話せる存在となれるよう努めていますか。 | A |
| 保護者の子どもに対する虐待の早期発見に努めていますか。 | A |
| 保護者に不適切な養育や虐待などが疑われる場合の対応について理解していますか。 | A |

第7 職員の資質向上（職員の研修等）

| 評価項目 | 評価 |
|-----------------------------------|----------------|
| 自身の人間性や倫理観が子どもに影響を与えることを自覚していますか。 | A |
| 園内で行われる研修や会議に積極的に参加していますか。 | A 90% B 10% |
| 園外で行われる研修に自発的に参加していますか。 | A 90% B 10% |

| | |
|---|---|
| 自己評価などで課題を見つけ、その課題の解決に取り組んでいますか。 | A |
| 保育に関する専門書や関係書を読むなどして、保育に関する知識を習得するよう努めていますか。 | A |
| 自身の保育について、施設長からの意見や指導があった場合に、感情的にならず謙虚に受け止められますか。 | A |
| 職員会議などで決定した方針が、自身の意見と違うときも、それに従って気持ちよく協力していますか。 | A |
| 保育所の自己評価の結果を公表するよう努めなければならないとされていることを理解していますか。 | A |

○次年度への課題と取り組み

- ・ コロナウイルス感染防止対策を引き続き行い、保護者が参加できるよう行事内容を工夫していく。
- ・ 家具の設置方法や避難経路等、地震対策について再度職員間で話し合い改善していく。
- ・ 昨年度の反省を生かし今年度は職員間の意見交換を活発に行い、互いの保育観を尊重しながら保育を行うことができた。今後も職員一人ひとりが互いの保育観や互いへの気持ちを理解しながら話し合いを十分行い、子どもたちが楽しくのびのびと過ごせる環境を整えていく。
- ・ 保護者とのコミュニケーションを大切にし、ひとつひとつの出来事を丁寧に伝えていけるよう心掛けていく。
- ・ 小規模園のため保育者一人ひとりの動きや言葉かけが子ども一人に対して多すぎてしまう場面がある。適切な関わりができるよう職員間で意識し合い、保育の方向性を共有していきたい。
- ・ 各年齢に合った活動の提供や言葉かけをより一層意識し、発達に合わせ子ども同士で解決できることは見守り、時には仲介に入り、事故のないように保育を行っていく。